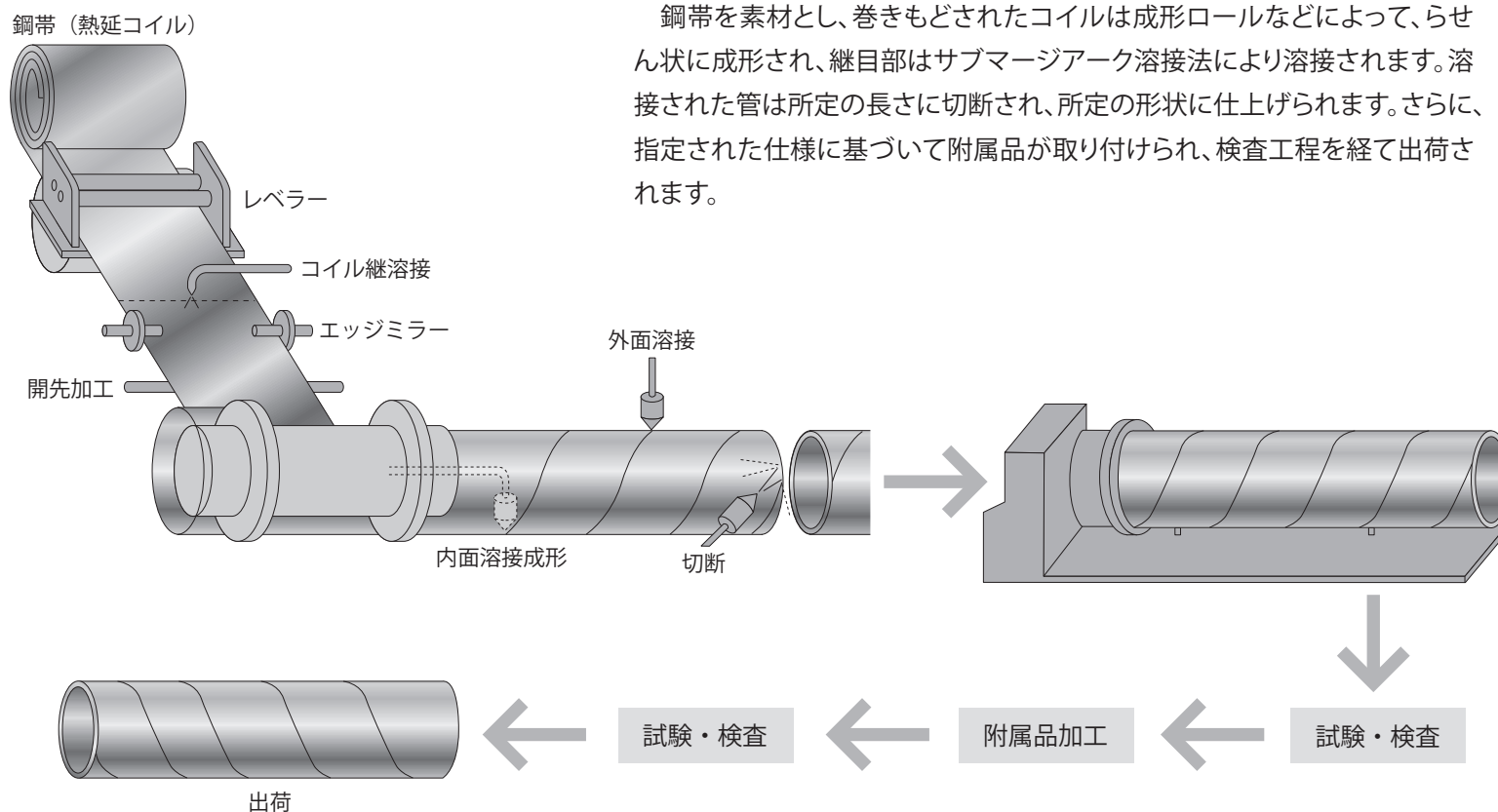


■ スパイラル鋼管



鋼帯を素材とし、巻きもどされたコイルは成形ロールなどによって、らせん状に成形され、継目部はサブマージアーク溶接法により溶接されます。溶接された管は所定の長さに切断され、所定の形状に仕上げられます。さらに、指定された仕様に基づいて附属品が取り付けられ、検査工程を経て出荷されます。

■ 電縫鋼管

鋼帯を素材とし、巻きもどされたコイルは成形ロールによって円筒形に成形され、高周波電気抵抗溶接法で溶接されます。溶接された管は走行切断機により切断され、矯正ロールにより真円度、真直度が矯正されます。さらに端面仕上げ、附属品取り付け、検査を経て出荷されます。

